

決議案第3号

北朝鮮による弾道ミサイル発射への抗議に関する決議について

北朝鮮による弾道ミサイル発射への抗議について、別紙のとおり決議するものとする。

令和4年10月12日提出

尼崎市議会議員	佐	野	剛	志
同	波	多	正	文
同	岸	田	光	広
同	西	藤	彰	子
同	真	鍋	修	司
同	辻		信	行

(別 紙)

北朝鮮による弾道ミサイル発射への抗議に関する決議

防衛省によると、9日午前1時47分頃と1時53分頃、北朝鮮東岸付近から合わせて2発の弾道ミサイルが東の方向に発射された。北朝鮮は9月下旬以降、弾道ミサイルを相次いで発射しており、4日には日本の上空を通過する形で発射している。平成29年9月以来、日本上空を通過するのは、7回目である。今年に入って北朝鮮によるミサイル発射は巡航ミサイルも含めて25回目となった。これらは、我が国の安全保障にとって重大かつ差し迫った脅威であるとともに、地域及び国際社会の平和と安全を脅かすものである。このような北朝鮮の行為は、関連国連安保理決議及び日朝平壤宣言への違反であり、断じて容認できない。

本市議会は北朝鮮に対し厳重に抗議し、最も強い表現で非難する。さらに、挑発行動を中止し、核・弾道ミサイル開発計画を直ちに放棄するよう強く求める。

国際社会は、国連安保理決議等を踏まえ、結束した外交努力を展開し、平和的な解決を模索すべきである。政府においては、国連加盟国に対し、これまでの国連安保理決議に基づく制裁措置の完全な履行を実現するよう働きかけを一層強化しつつ、米国、韓国等関係各国と緊密に連携し、北朝鮮に対する一層厳格で実効的な措置を取るよう求めるべきである。

北朝鮮の核・ミサイル問題のみならず、拉致問題も我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる最も重大な問題であり、国際社会が結束して北朝鮮による核、ミサイル、そして、最重要課題である拉致問題の包括的かつ早急な解決を図ることを求めるものである。

以上、決議する。

令和4年10月 日

尼 崎 市 議 会